

図書館視察の報告

1 図書館視察概要

(1) 視察先

長崎県立・大村市立一体型図書館「ミライon図書館」
(長崎県大村市東本町481)

(2) 視察日

令和5年11月22日(水)

(3) 参加者

図書館協議会委員6名、図書館職員3名



2 視察参加者の感想等

(1) 読書環境の整備

【電子書籍】

- ・長崎県は離島が多いため、離島の住民が来館しなくても図書館を利用できるように、登録カードの電子申請や電子書籍の充実に力を入れた。
- ・図書館アプリをスマホやPCにインストールすることで、マイナンバーカードで登録カードを作ることができ、電子書籍サービスを受けることができる。
- ・令和5年3月開始した電子書籍サービスは利用が進み、アクセス数も順調に伸びている。(平均アクセス数1日70回)
- ・電子書籍の多くは専門書で、毎年テーマを決めて購入している。(令和4年度のテーマは郷土、YA、ビジネス関連、令和5年度のテーマは健康、医療)

【自動貸出機等】

- ・すべての本にICタグがつけられているため、自動貸出機を通すことで利用者が自分で予約本を受け取ることができる。職員の業務負担の軽減になるとともに、借りた本を知られたくない利用者にも喜ばれている。

【アーカイブ化】

- ・貴重で古い資料は、長崎市にある県立郷土資料センターがデジタルコレクションとして保存・提供している。

【読書困難者対応】

- ・音声で本を紹介するコーナーや対面朗読室を作り、障害のある方への配慮がなされている。
- ・LLブックや大活字本は充実しており、バリアフリー機器の案内表示等が読書困難者への配慮がなされている。

【若者世代への取組】

- ・ヤングアダルトコーナーが館内4か所にあり、高校生が友達に薦める本の紹介や進路に関する情報、大学の公開講座の案内等が掲示されている。また、その横には関連本を置くなど、中高生の関心を引くよう、内容面や表現方法などの工夫が見られた。

・長崎県生涯学習課主催のビブリオバトルの支援を行っている。

(2) 市民の図書館利用支援

【職員研修・職員の能力向上】

・職員向け研修を年3回行っている。

【図書館展示】

・展示が多く(子ども室に4か所、一般室に9か所)、内容も充実している。

【蔵書検索】

・予約本専用室があり、予約した本を自分で検索し、貸出手続きができる。

【レファレンス】

・図書館の正面玄関には、総合案内の職員がいて、利用者の目的に応じて案内をしている。

【郵送貸出サービス】

・高齢者には着払いで書籍を郵送し、利用者を広げている。

(3) 図書館からの情報発信

【ホームページ】

・図書館利用案内に、子ども用の図書館紹介動画や読書困難者向けの手話動画、LL版、外国人市民に向けた英語版など様々な方に向け、丁寧な利用案内があった。

【館内掲示】

・館内のいたるところで、利用者に配慮し工夫されたPRがあった。

【SNSの活用】

・長崎県立図書館では、X(旧ツイッター)で職員が身近な情報を発信している。

【出張サービス】

・図書館が地域に出向いていくサービスを積極的に行っている。

(4) 子どもの読書活動推進

・子どもの言葉の力をつけるために、子どもが生まれる前の親へ啓発(読み聞かせ会など)を行っている。

・「子どもたちにすすめる本500選」を館内に展示している。

・「おむらんちゃん(大村市のマスコットキャラクター)をさがせ」というイベントを実施した。

・子ども向けレファレンスがあり、職員が子どもからの質問に答えたり、職員が来館した子どもに声掛けをしたりするなど、子どもへの対応がきめ細かい。

(5) 図書館の役割拡大

・3階までは音を立ててもよいが、4階は静かな空間としている。また、それぞれの机に仕切りを作り、照明も個別に調整できるようになっている。

・多目的ホールを使って、食育講座、シニア向けイベント等多彩な活動を実施している。

・2階にはガラス張りのグループ学習室を設けている。

・不登校児童生徒の居場所として、案内している。

- ・図書館が駅と商店街をつなぐ通り道上にあり、自由に遊べる芝生広場もあるため、市民がふらっと立ち寄れる場所になっている。

(6) 地域の人材活用

- ・多くのボランティアのグループがあり図書館を活性化させるのに役立っている。(ボランティアグループ：装飾、読み聞かせ、演奏、対面朗読、イベント企画など)
- ・図書館が地域人材の活動の場を提供し、市民が生き生きと活動している。

(7) 地域との連携

- ・地域や学校に出向いていくサービスに力を入れている。
- ・市内小中学校で年一回の出前講座を行うとともに、全校を回って図書館への要望を聞いている。また、学校司書向けの講座開催している。
- ・地元の商業高校の生徒が開発した図書がどこに置いてあるか案内する図書検索アプリを館内に置いて活用している。
- ・美術館の展示、サッカー選手のお薦め本展示、就職等の相談会を行っている。
- ・商店街と連携したイベントを計画中である。
- ・多目的ホールで行われている市の各部署のイベントとタイアップして、関連本展示などを行っている。

(8) 施設・設備

- ・閲覧席は106席、学習席104席ある。
- ・来館者に合わせて空調や照明を調整できるようになっており、快適な空間づくりの工夫がされている。
- ・駐車場(200台分)、館内Wi-Fi、貸出用タブレット(10台)を確保している。
- ・建物の天井や書架に地元産の木材を使い、やわらかい雰囲気を出している。
- ・多目的ホールを貸館とすることで、図書館が市民に広く利用されている。

(9) 組織運営等

- ・予算は電子書籍も資料費も減らさず確保できている。
- ・県と市が一体となった図書館の運営に県・市の職員が知恵を出し合っている。
- ・地域の人々の知の拠点であり、出会いが楽しくなる取組みや組織としてのスクラム力が見えて大変参考になった。